

藤田佳久編著

定価2800円

東亜同文書院
中国調査旅行記録

第1巻

中国との出会い

ISBN4-470-45040-5

20世紀になって間もない時期、中国大陸を踏査した若者たちがいた。不十分な交通機関を克服し、百日余の長旅で、彼等は何を観、考え、学んだか。詳細な日記を甦らせ、当時の都市・農村・社会等を知る貴重な資料

『中国との出会い』をめぐって／芝罘・威海衛旅行記(1902)／河南湖広線コース日記(1908)〔上海—南京—九江—漢口—洞庭湖—長沙—沙市—洛陽—鄭州—石家莊—北京—天津—大連—上海〕河内・雲南・四川コース日記(1910)〔香港—ハノイ—昆明—宜賓—成都—重慶—宜昌—沙市—南京〕試行期における中国調査旅行記録の現代的意義

藤田佳久編著

定価 7725円

東亜同文書院
中国調査旅行記録

第2巻

中国を歩く

ISBN4-470-45043-X

第1巻に収録した記録は、開拓魂をもって中国を歩いたのに対し、本巻では、調査目的を前面に出したのが特色。清代末・民国時代の反日運動激化の時期に、身の危険を顧みず調査旅行を完遂した、貴重な記録。

『中国を歩く』をめぐって 1923年の記録〔中支鉄道沿線輸運業 倉庫業 京漢、京奉、京綏沿線 企業貿易経済 湘蜀重要物産 江河文物比較 中支交通物産 江西江南工業 南支沿岸貿易〕1925年の記録〔北満及国境 北支満蒙 秦隴北路・南路 山西陝西黃河流域 京漢沿線 広東広西 南支 滇蜀 印度支那〕

『中国を歩く』を読み解く

101 東京都千代田区
神田小川町3-22

大明堂

TEL 03-3291-2374
FAX 03-3291-2376

日中戦争という苦悩の時代に
巻き込まれ、敗戦とともに、
半世紀にわたる歴史の幕を閉
じた幻の名門校「東亜同文書
院大学」。その足跡を学徒出
陣世代のOBが語る。



第1集 好評発売中!

- 編集内容
- 「愛知大学との出会い」
(元NHK解説委員) 小林 一夫
 - 愛知大学の原点は東亜同文書院大学」
(元ルー・マニア特命全權大使) 小崎 昌業
 - 「東亜同文書院大学と愛知大学」
(元読売新聞社編集委員) 釜井 卓三
 - 「幻」でない東亜同文書院大学」
(愛知大学文学部教授) 藤田 佳久
 - カラーグラビア「愛知大学キャンパスウォッチング」

A5判76頁 定価500円(税込み)・送料240円

東亜同文書院大学と愛知大学

第2集 第2集刊行!

- 編集内容
- 「馬馬虎虎」の一語 同文書院終焉前後の思い出」
(元中部日本放送論説委員長) 松山 昭治
 - 「不幸な時代の青春の記録」東亜同文書院生と反戦運動」
(中日新聞・東京新聞論説委員) 伊藤 喜久蔵
 - 「祖父、大内暢三の肖像 日中戦争開始の東亜同文書院生」
(元NHK国際局アジア部長) 川原 寅男
 - 「千年ひと昔それでも中国」商社マンの歩んだ五十年」
(前上海交通大學日本語専攻) 吉川 績
 - 「特別寄稿 上海から豊橋へ「二世紀」の校歴をたどる」
(朝日新聞編集委員) 毛井 正勝

A5判88頁 定価500円(税込み)・送料240円

第3集 大好評に広えて、第3集刊行!

- 編集内容
- 「書院 上海 日本」わがころの記」
(元毎日新聞西部本社編集局長) 日野 晃
 - 「わが故郷 東亜同文書院と父 鈴木沢郎」
(早稲田大学第一文学部非常勤講師) 鈴木 康雄
 - 「上海同文書院と愛知大学」
(米カルフォルニア大学バークレー校訪問教授) 林 文月
 - 「NHKテレビ番組「上海・幻の名門校」
—東亜同文書院生の軌跡—」スクリプト
(NHK名古屋放送センター番組制作ディレクター) 福田 哲夫

A5判88頁 定価500円(税込み)・送料240円

編集
愛知大学東亜同文書院大学記念センター

発行
六甲出版 神戸市灘区岩屋北町3-3-18

お求めはお近くの有名書店、
又は直接下記へお申し込み下さい。

愛知大学広報課

〒461 名古屋市中区東区簡井2丁目10-31
TEL.(052)937-8111

郵便振替口座: 00870-29104

第1〜3集のうち2冊以上注文でも、送料は1冊分の240円とします。